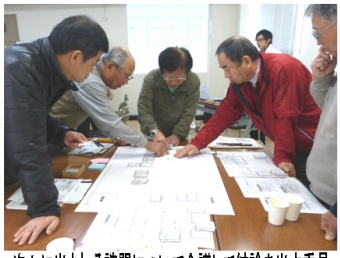
大災害に備え　避難所運営訓練

八本松自主防災対策委員会　東広島市では最初の取組


次々に出される諮問について合議して結論を出す委員

2月14日八本松自主防災対策委員会は市社会福祉協議会と市総務部危機管理課の担当者を招き市内の自主防災会では初めてとなる避難所運営の机上訓練を実施した。この訓練は11月22日に同委員会で実施された避難所運営の基礎的な知識（避難所運営マニュアル東広島市内で最初に作成）を習得する研修内容を一段階進めたもので、実際に避難所のボランティア経験のある社会福祉協議会の豊島さんが、静岡県で開発された避難所運営ゲーム（HUG）グッズを用い実施。豊島さんから出された200の諮問を出席した委員（20名）は、その対応を机上に置かれた避難所の平面図に配置・記述してゆく疑似体験ゲームでチームワークと迅速な判断力を養うことができる。

参加した委員は大規模災害時に備え真剣にゲームにとりくんでいた。特に問題が多岐にわたるうえマニュアルにはない諮問もあり、実際の現場で適切な対応をする大変さを感じ取られた。最後に豊島さんは「本日ゲームを基に実際の避難所運営に当たり何が必要なのかどう対応すべきか検討していただきたい」と述べた。

検討会では、大災害に備えた避難所の整備や避難所に必要な資器材の整備も運営訓練と並行し進める必要があり、この点は行政当局で計画的に推進するよう要望が出された。また、信国副会長は本日の研修結果を踏まえ、机上訓練から実地訓練へ進める旨語った。

下組総合防災会　研修会を実施

自主防災組織の活動について研修を受ける役員

下組総合自治会自主防災会は11月10日に下組集会所にて役員約30人で研修会を行った。

講師には東広島市危機管理課梅係長を招き自主防災について講義を受けた。

内容は自主防災組織の在り方と組織内の役割分担や防災活動事例について学んだ。

野良犬保護活動で成果

宗吉東・南区自治会

宗吉東・南自治会は11月27日から開始した野良犬保護活動を2月12日をもって一旦終了した。この保護活動は近年の野良犬増加による住民への被害を防止するため、県動物愛護センターと市の協力を得て保護用サークルによる保護活動を実施してきたもの。住民の方の協力もあり、この2カ月間で7頭を保護し、当初16頭とみられた野良犬も約3頭までに減少。室岡区の佐々木自治会長は再び増頭しないよう「野犬に餌を与えない運動」を継続したいと語った。

週五日制対応行事　わらべうた教室

1月30日に学校週五日制対応行事「わらべうた教室」が地域センターで開かれた。

わらべうた教室に参加した児童・保護者・先生・役員（50名）

今回は男の子の参加が多く（参加者50名）、みんな大下先生のお話に耳を傾け一つの遊びに集中し楽しんでいた。

本年度はこれが最後。来年も是非参加してください。

第6回　夜の見回り活動

防犯部会は2月6日夜7時から地域の有志22名で夜の見回りを実施。昨年10月防犯灯点検で問題の箇所も改善を確認。高橋部会長は来年度の合同見回りが始まる4月までの間皆さんの都合に合わせ見回りをと挨拶。

夜の見回りを実施した有志